

## 【8月25日 各学科プログラム紹介】

★1 ③「ちょっとまって！その手洗い大丈夫？小さな力で楽々移動」の実技体験では定員が設けられています。希望する方は必ず申込時に選択するようにしてください。

★2 臨床検査学科は申込時にコースを選択する必要があります（1つのコースにしか参加できません）。

学科	内容
看護学科	<p>※次の①～③どれかにご参加ください。</p> <p><b>①模擬講義</b></p> <p>●<b>ストレスと上手につきあいましょう！</b></p> <p>「ストレス社会」という言葉もあるように、日常生活にはあらゆるストレスがあふれています。ストレスのために心の病気になることもあります。ストレスとは何なのかを知り、ストレスとの上手な付き合い方を考えてみましょう。</p> <p><b>②看護学生トークライブ</b></p> <p>看護学生ならではのリアルなトークが聞けるチャンス！</p> <p>「普段はどんな授業をしているの？」「実習はどんな感じ？」等、看護学生のリアルを体感しませんか？</p> <p>[ 実技体験 ]</p> <p>③「ちょっとまって！その手洗い大丈夫？小さな力で楽々移動」★1</p> <p>感染予防の第一歩となる手洗いを器具を用いてチェックしてみましょう。また、補助具を用いて小さな力で楽に患者さんを動かしてみましょう。</p> <p>③「身体の声聞いてみましょう」（成人精神領域）「認知症予防運動」（地域老年領域）</p> <p>「子どもの窒息対処」（母性小児領域）</p> <p>[ 実技体験 ]</p>
理学療法学科	<p>●<b>アスリートを支える足研究の最前線！</b></p> <p>2025年大阪・関西万博が開催されます。万博のテーマは未来社会の実験場です。森ノ宮医療大学は万博会場に一番近い大学として、提案する未来のリハビリテーション、中でも未来の理学療法を感じてほしいと思います。特にアスリートに多い足関節の怪我の理学療法の研究では国内トップレベルです。足の研究から分かった成果をご覧ください。</p> <p>[ 実技体験 ]</p>
作業療法学科	<p>●<b>ヒトの記憶のメカニズムってどうなっているの？</b></p> <p>記憶には、実は色々な種類と特性があります。これらの特徴を知ることによって自分に合った「覚えやすい」を見つけることができるかも！そして、世界的な社会問題となっている認知症に関する最新知見についてご紹介します！</p> <p>[ 実技体験 ]</p>
言語聴覚学科	<p>●<b>口の動きで「発音」「飲み込み」は良くなるか！？</b></p> <p>「食べる」「話す」は私達にとって必要不可欠な機能です。「食べる」「話す」を行ううえで基礎となる「口の動き（口腔運動）」の評価や訓練を体験しましょう！</p> <p>[ 実技体験 ]</p>
臨床検査学科 ★2	<p>※次のAもしくはBどれかにご参加ください。</p> <p>[ 実技体験 ]</p> <p><b>【Aコース／はたらく細胞を見てみよう！】</b></p> <p>私たちの体を流れる血液中には、赤血球、白血球、血小板という3種類の細胞成分があります。白血球は感染から体を守ってくれる細胞で、顕微鏡で観察すると形態の特徴からさらに5種類に分けることができます。今回は標本を実際に染色して顕微鏡で観察し、何種類見分けられるかみんなでチャレンジします！</p> <p><b>【Bコース／超音波造影剤をやってみよう】</b></p> <p>臨床検査技師法の改正によって業務拡大が行われ、乳腺と肝臓に対する超音波造影剤の注入が技師のみで行えるようになりました。体験授業では造影剤の注入を実際にやってみましょう。</p> <p>[ 実技体験 ]</p>
臨床工学科	<p>●<b>身体の中を見て、治療する医療機器に触れてみよう</b></p> <p>近年の医療技術の進歩に伴い、医療機器も大きく進歩してきました。特に、身体につける傷を最小限にして治療を行う内視鏡技術や除細動器、身体に傷をつけることなく体内を診ることができる超音波エコーなど、身体を計測する機器がどのように使われているのか体験してみよう。</p> <p>[ 模擬講義 ]</p>
診療放射線学科	<p>●<b>画像解析のスペシャリストが語る診療放射線技師の役割と魅力</b></p> <p>診療放射線技師は、診断と治療の両面から人々の健康を支える医療スタッフの一員です。本講義では、画像解析のスペシャリストが診療放射線技師の仕事を紹介しつつ、診療放射線技師の役割と魅力について分かりやすくお話しします。</p> <p>[ 実技体験 ]</p>
鍼灸学科	<p>①<b>スポーツ特修コースまつり</b></p> <p>「スポーツサイエンス」と聞いてどのように感じますか？高額な機材を使うと思いませんか？近年では、ICTの発展によりスポーツ現場では普段私達が身近に使っているスマートフォンやタブレットがアスリートのサポートツールとして使われています。今回は、タブレットを使ってどのようにアスリートのサポートに応用するか体験しましょう。そして、鍼灸師がスポーツ現場で鍼灸治療をどのように行っているのかについてもお話いたします。</p> <p>②<b>鍼灸師の仕事お魅せします</b></p> <p>鍼灸師はさまざまな症状に悩む患者さんの治療に携わる職業です。鍼灸師がどのように患者さんと向き合い、その技術と知識を駆使して治療を行っているのか、実演を交えてお話します。そして、「美容婦人・スポーツ・東洋医学」の見て触れる展示ブースや耳つば体験コーナーも準備しています！</p>